



大仙市立豊川小学校 校長室だより

ゆめアップ 豊川っ子

令和2年度 第22号 2020.7.9

豊成っ子合同体験学習

7月7日(火)、8日(水)の両日、5年生が、豊岡小学校の5年生と豊成っ子合同体験を行い、有意義に終えることができました。今年度はコロナ禍で保呂羽山少年自然の家で行うことができませんでしたが、両校で活動のアイデアを出し合い、保呂羽山少年自然の家の先生方もお招きし、例年に近い活動ができました。初めて体験したことや新しい仲間と一緒に体験したことで、楽しさも倍増だったようです。

テント設営、炊飯活動、ナイトハイクなどで、協力し合う姿が見られ、個としても集団としても成長できたように思います。来年度、統合校で一緒になるのが楽しみです。

子どもたちには、今回の体験を通じて、活動を支えてくださった保呂羽山少年自然の家の先生方、豊岡小学校の先生方、家族の方々に感謝の気持ちを持ち、今回の学びを今後の学校生活に生かしてほしいと思います。遅い時間帯までの活動に際して、保護者の皆様にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。



【ナイトハイク用提灯作成】



【テント設営】



【カヌー体験】

○子どもたちの感想から(一部抜粋)

- さん 色々な活動を豊岡小学校のみんなとも仲良く協力できてよかったです。これからも交流する機会があったら、仲良く協力して活動したいです。
- さん 一日目はナイトハイクが一番楽しかったです。前にお世話になった田口伸子先生や鈴木茂先生とも会えました。二日目は陶芸体験でつつの入れ物を作り、できあがりを楽しみました。
- さん 豊岡小の5年生のみんなと仲良くなれたような気がしました。来年、同じ学校で勉強するときも仲良くしたいです。

ふるさと学習(3年生)

3年生は総合的な学習の時間を中心に、豊川地域を大きなテーマに学んでいます。今回は「円満造甚句踊り」について、毎年踊りを指導していただいている黒澤タエ子先生にインタビューをしてきました。

「いつから円満造甚句が踊られるようになったのか」、「なぜ、このような振り付けになったのか」質問をし、黒澤先生から分かりやすく教えてもらいました。



3年生は学んだことをまとめ、ふるさとマップにする予定です。できあがり、楽しみです。

障がい理解学習(4・5年生) ～支援学校の先生をお招きして～

県立聴覚支援学校から泉先生、伊藤先生、照井先生の3名を講師にお迎えし、障がい理解に係る出前授業を行いました。本校の4・5年生が豊岡小学校の5年生と一緒に授業を受けました。

身体の不自由な人の大変な部分を理解することで、相手の立場に立って考える力が育ってほしいと感じました。子どもたちの学ぶ眼差しは真剣であり、授業後の感想にも相手意識が表れていました。

